

1 商業全体の概況

***事業所数、就業者数は減少、年間商品販売額は微減にとどまる。**

卸売業・小売業の合計では、

- (1) 事業所数は13,460事業所(全国第40位)で、前回(平成16年)に比べて1,047事業所減少(7.2%)しました。
- (2) 就業者数は98,602人(全国第37位)で、前回に比べて5,543人減少(5.3%)しました。
- (3) 年間商品販売額は2兆1,262億円(全国第40位)で、前回に比べて203億円減少(0.9%)しました。

【奈良県の主要3項目】

<参考> 全国合計

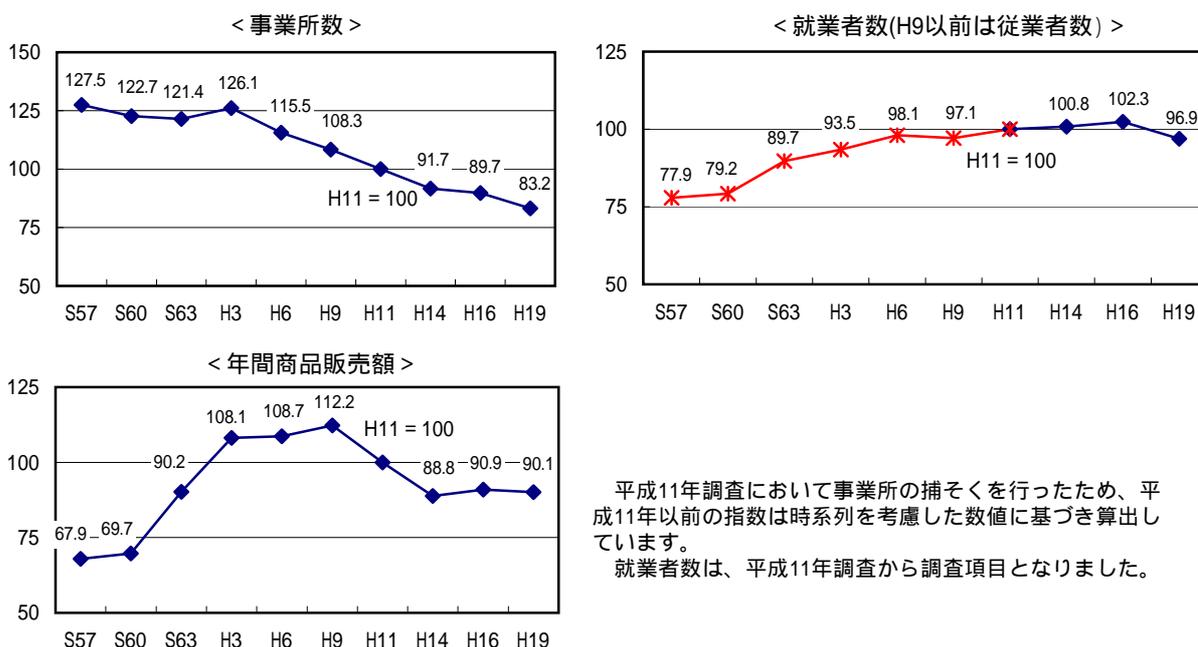
項目	平成19年		対前回(平成16年)比		平成19年	対前回	
	実数	全国順位	増減数	増減比	実数	増減比	
事業所数	商業全体	13,460	40位	1,047	7.2%	1,472,658	8.7%
	卸売業	1,928	46位	45	2.3%	334,799	10.8%
	小売業	11,532	39位	1,002	8.0%	1,137,859	8.1%
就業者数	商業全体	98,602人	37位	5,543人	5.3%	11,685,048人	5.3%
	卸売業	16,025人	44位	641人	3.8%	3,622,852人	4.8%
	小売業	82,577人	32位	4,902人	5.6%	8,062,196人	3.8%
年間商品販売額	商業全体	21,262億円	40位	203億円	0.9%	5,482,371億円	+1.8%
	卸売業	8,760億円	44位	279億円	3.1%	4,135,317億円	+2.0%
	小売業	12,503億円	32位	+75億円	+0.6%	1,347,054億円	+1.1%

事業所数は、平成3年以降減少を続けており、9調査前の昭和57年(18,453事業所)と比べると4,993事業所(27.1%)減少しました。

就業者数及び従業者数(就業者数から「臨時雇用者」及び「派遣従業者(受入-出向)」を除いたもの)は、前回までは増加傾向が続いていましたが、今回は減少に転じ、減少幅は過去10調査で最も大きくなりました。

年間商品販売額は、平成11・14年は連続して減少しましたが、平成16年は増加に転じ、今回は微減にとどまりました。

第1-1図 事業所数、従業者数、年間商品販売額の推移(過去10調査、H11=100)



卸売業と小売業の割合をみると、事業所数では卸売業が、就業者数と年間商品販売額では小売業の割合が、それぞれ拡大傾向にあります。

奈良県における卸売業の割合は、事業所数、就業者数、年間商品販売額のすべてにおいて、全国で最も低くなっています。

第1-2図 事業所数、従業者数、年間商品販売額の卸・小売業別割合の推移（過去10調査）



【参考】商業全体（卸・小売業計）に占める卸売業の割合 全国比較

